

介護職員初任者研修と訪問介護員養成研修2級課程のカリキュラムの比較表

(大阪府)

- 介護福祉士課程への連続性を考慮し、「こころとからだのしくみと生活支援技術」として演習による介護技術を修得する時間を大幅に確保するとともに、講義と演習を一体的に実施。
- 地域包括ケアシステムにおけるチームケアの提供を推進していくため、「医療との連携」に係る時間を確保。
- 今後の認知症高齢者の増加を見込んで、「認知症の理解」に関する科目を新設。
- 「職務の理解」や「振り返り」の科目において、実習(職場見学等)により、実際の介護現場の体験等を実施。
- 研修の学習効果を高めるため、修了評価(筆記試験/1時間以上)を実施。

訪問介護員養成研修2級課程		
	科目	時間数
講義	社会福祉の基本的な理念及び福祉サービスを提供する際の基本的な考え方に関する講義	6
	高齢者保健福祉及び障がい者福祉に係る制度及びサービス並びに社会保障制度に関する講義	6
	訪問介護に関する講義	5
	高齢者及び障がい者の疾病、障がい等に関する講義	14
	介護技術に関する講義	11
	生活援助の方法に関する講義	4
	相談援助に関する講義	4
	医学等の関連する領域の基礎的な知識に関する講義	8
	人権啓発に関する知識	2
演習	福祉サービスを提供する際の基本的な態度に関する演習	4
	介護技術に関する演習	30
	訪問介護計画の作成等に関する演習	5
	レクリエーションに関する演習	3
実習	介護実習	24
	高齢者デイサービスセンター等のサービス提供現場の見学	6
	合計	132



介護職員初任者研修		
	科目	時間数
講義と演習 <small>※必要に応じて実習を取り入れることを可能とする。</small>	職務の理解	6
	介護における尊厳の保持・自立支援(人権啓発に係る講義を2時間含む)	9
	介護の基本	6
	介護・福祉サービスの理解と医療の連携	9
	介護におけるコミュニケーション技術	6
	老化の理解	6
	認知症の理解	6
	障がいの理解	3
	こころとからだのしくみと生活支援技術	75
	振り返り	4
	合計	130

※全科目修了後に筆記試験による修了評価を実施(1時間以上)